

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立川登中学校（佐賀県）【指定校】

＜教育利用＞ ④「個別最適な学び」「協働的な学び」につながる生成AI活用

英語科での活用

英会話の練習相手として利用。家庭でChat GPTで練習した後に、学校ではALTとの英会話を実施した。また、生徒各自が作成した英作文をChat GPTでより自然な英文になるように添削に用いた。Chat GPTが示した英単語や表現が難しい場合は、辞書や検索を用いて自分が納得できるようにすることを合わせて指導を行った。

教科の授業の中では、プロンプトは予め教員が準備をし（図5）、それをコピー＆ペーストして使うようにすることで、教科の学習が円滑に進むように工夫を行った。

参考

プロンプト1：文の訂正

#命令文:
あなたは中学校の英語教師です。入力文の英文に間違いがあれば修正しなさい

#制約条件:
・中学1年生で習得する英語の単語や文法を使いなさい。
・英文で間違いを修正した箇所を日本語で説明しなさい。

#内容:

プロンプト2：自然な文

#命令文:
あなたは英会話のスペシャル講師です。日本人の小学校低学年でもわかる単語と文法を使ってください。

#制約条件:
・内容の英文について、より自然な表現を提案してください。
・内容の英文をつないで文章にしなさい。
・内容以外の情報は入れないようにしてください。
・25ワード以内になしてください。

#内容:

プロンプト3：
内容の充実（会話）

#命令文:
あなたは#英会話のスペシャル講師です。こちらの話を聞いてから質問してください。

#制約条件:
・提案は小学生でもわかる単語や文法を使ってください。
・1回の会話につき10ワード以内で返してください。
・1回の会話は1文で表現してください。

#内容:

New
Chat

図5

その他教科等での活用

＜数学＞

- ・解答に至るヒント、別解法の提示。

＜学級活動＞

- ・高校入試の面接練習。

＜技術・家庭（技術分野）＞

- ・2030年の電力構成に関する話し合い活動で、生成AIが示す別視点についても議論。

（教員）

学習支援の一環として、可能性は大きい。また、話し合い活動では、新しい視点での意見が示され、多様な考えやさらに、生徒の考えを深めさせるための手助けになると感じた。

（生徒）

「個別練習がしやすい」、「教材を生成させ、繰り返し学習できる」といったことから、学習への意欲向上につながった。イメージを文章や画像として生成できるので、表現が苦手な生徒にとって、新たな表現ツールになる可能性がある。